

News Release

— 子どもたちからの交通安全メッセージ —

『携帯電話の使用マナー』を訴えるポスター 2年連続で訴求テーマのトップに

平成26年度JA共済交通安全ポスターコンクール 全国作品テーマ分析レポート

JA共済連が主催する「第43回 小・中学生交通安全ポスターコンクール」には、全国から16万5,694点の応募があり、各都道府県から選出された優秀作品350点が全国コンクールの審査にあがってきました。

本会では、毎年、これら全国コンクール審査作品の訴求テーマを集計し、小・中学生が、今、どのような視点で交通安全を捉えているかを分析しています。

本年度も、交通安全を考えるうえで、示唆に富む内容がまとまりましたので、ご報告します。

■『携帯電話の使用マナー』集計開始以来、過去最高の構成比を記録

本年度の全国コンクール審査作品をテーマ別に分類すると、『携帯電話の使用マナー』を訴えるポスターが、全体の14.6%を占め、訴求テーマのトップとなりました。『携帯電話の使用マナー』は、平成22年度と平成25年度に続き、今回3回目の最多テーマとなりましたが、その割合は、平成22年度の8.0%、平成25年度の12.0%を上回る過去最高の構成比率となりました。

携帯電話を操作しながら自転車を運転していた高校生が歩行者と衝突して大怪我を負わせた事件や、携帯電話を見ながら地下鉄のホームを歩いていた中学生が誤って転落した事件など、昨今携帯電話使用中の事故に関するニュースが多く報道されています。

2年連続で『携帯電話の使用マナー』が訴求テーマのトップとなり、今回、過去最高の構成比を記録した背景には、社会全体がまだまだ携帯電話の使用マナーが守られていない現状を、子どもたちが敏感にキャッチした結果であると言えます。



〔中2の作品〕

■本年度の『携帯電話の使用マナー』ポスターのキーワードは『ながらスマホ』



〔小6の作品〕

『携帯電話の使用マナー』を訴えるポスターは、本テーマ分析を開始した平成15年度には、社会に対するメッセージ性の高い作品が目立つ中学生のポスターにすでに登場しており、ドライバーに向けて、『運転中の携帯使用』の危険性を指摘していました。

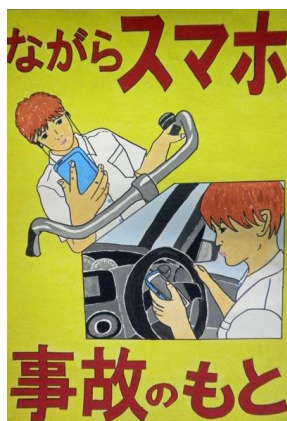
その後、スマートフォンが普及し始めた平成22年度には最多テーマとなりましたが、この時もドライバーに『通話禁止』『メール禁止』を呼びかけるものが大半でした。

それから3年後の平成25年度、再び訴求テーマのトップになると、今度は携帯電話を操作しながら歩く、いわゆる、“歩きスマホ禁止”を訴えるポスターが急増。そして、本年度のポスターにおいては、『ながらスマホ』をキーワードに、ドライバー・自転車・歩行者の全ての利用者に対し、様々な絵柄と構図で危険性を訴える作品が目立ちました。

◇ 本年度の『ながらスマホ禁止』を訴えるポスター



〔小4の作品〕



〔小6の作品〕



〔小6の作品〕



〔中2の作品〕

＜その他 本年度の特徴的な作品＞

◇ 私の“手”に気づいてね(小学校低学年)

『道路横断ルール』は、小学校低学年の定番テーマですが、本年度は、ドライバーに対して『私の“手”に気づいてね』と呼びかけるポスターが多く描かれました。これは例年にはなかった視点です。



〔小1の作品〕



〔小2の作品〕



〔小2の作品〕



〔小3の作品〕

◇ 自転車の交通ルール・マナーに関する作品(小学校高学年・中学生)

子どもたちにとって身近な乗り物である『自転車』に関する話題も定番テーマのひとつです。なかでも小学校高学年や中学生の作品では、『内輪差による巻き込み事故』『地元の事故状況』『駐輪マナー』『左側通行』など、様々な角度から自転車交通ルールやマナーの順守を呼びかけており、完成度の高いポスター作品となっています。



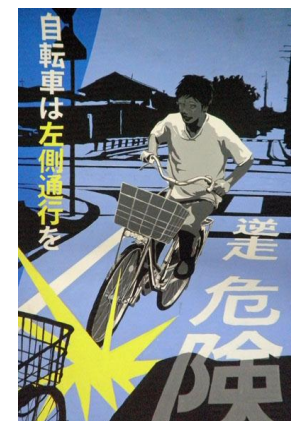
〔小6の作品〕



〔中1の作品〕



〔中1の作品〕



〔中3の作品〕

＜交通安全ポスターコンクール 訴求テーマ第1位と社会の動き(過去5年間)＞

交通安全ポスターコンクールを分析すると、子どもたちは、その時々交通安全に関する旬のテーマに敏感であることがわかります。子どもたちが指摘する“今、最もホットな交通安全の課題やテーマ”を参考にしながら、交通安全に努めたいところです。

年度	最も多かった訴求テーマ	社会の動き
平成26年度	「携帯電話の使用マナー」	前年度と同様、歩きながら、自転車に乗りながら等の携帯電話、スマートフォン等による事故が多発。東京消防庁は『年々増加傾向にある』とHP上で注意を促す(H26.3)。
平成25年度	「携帯電話の使用マナー」	携帯画面を見ながら歩く、“歩きスマホ”を原因とした交通事故やホーム転落事故が発生し社会問題化。
平成24年度	「安全運転」「思いやり運転」	暴走自動車が行歩者をはねる事故が多発。京都府亀岡市では乗用車が集団登校中の小学生の列に突っ込み10名が死傷する事故が発生した。
平成23年度	「自転車マナー」	違法自転車「ピスト」による事故が多発。警察庁が「自転車総合対策」を発表(H23.10)
平成22年度	「携帯電話の使用マナー」	아이폰などスマートフォンが普及し始める。「運転中の携帯電話使用」摘発件数の増加。

【詳細データ】平成26年度(第43回)交通安全ポスターテーマ集計表

テーマ	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	合計	%
携帯電話の使用マナー	0	0	3	7	7	9	8	11	6	51	14.6
ヘルメット着用	4	5	11	6	0	1	1	1	2	31	8.9
交通ルールを守ろう	3	3	3	4	2	1	3	2	3	24	6.9
飲酒運転禁止	1	0	2	1	3	6	4	3	2	22	6.3
安全運転(思いやり運転)	2	0	3	4	5	0	2	2	3	21	6.0
飛び出し禁止	5	2	1	1	2	3	4	0	3	21	6.0
手をあげて渡ろう	10	4	3	2	0	0	0	0	0	19	5.4
信号守ろう	3	5	0	1	0	0	2	2	3	16	4.6
よく見て渡ろう	6	3	3	1	2	0	0	1	0	16	4.6
反射板・目立つ服の着用	1	0	0	1	3	3	2	5	1	16	4.6
シートベルト・チャイルドシートの着用	2	5	2	3	0	1	1	0	1	15	4.3
一時停止を守ろう	0	1	0	0	1	2	1	5	2	12	3.4
無灯火危険・早めのライト	0	3	0	1	1	2	0	2	0	9	2.6
前方注意(よく見て運転しよう)	0	0	1	2	3	0	1	0	1	8	2.3
並列歩行(走行)禁止	1	1	1	0	3	0	0	2	0	8	2.3
自転車は正しく乗ろう	0	0	1	1	1	3	1	0	0	7	2.0
私の“手”に気づいてね	2	3	1	0	0	0	0	0	0	6	1.7
自転車は左側通行	0	0	0	0	0	0	2	1	3	6	1.7
駐輪マナーを守ろう	0	0	0	0	1	1	2	1	0	5	1.4
スピードを出さない	0	0	1	0	1	1	0	0	2	5	1.4
自転車も車両	0	0	0	1	0	0	0	0	3	4	1.1
その他	0	5	2	3	4	4	6	1	3	28	8.0
合計	40	40	38	39	39	37	40	39	38	350	100

※構成比につきましては、表示単位未満を四捨五入して表示しています。